

## 研究課題名 卵巣癌プラチナ抵抗性再発患者の予後因子と化学療法の効果

### 1. 研究の対象

当院でプラチナ抵抗性再発と診断され、2016年以降に卵巣癌、卵管癌、及び腹膜癌で原病死された患者さん

### 2. 研究目的・方法

#### 目的

プラチナ抵抗性再発（白金製剤投与後6か月未満の再発）は化学療法が奏効しないことも多く、化学療法の継続は患者さんに不利益を与える場合もあるとされています。適切な患者さんの選択が大切ですが、確立した選択方法はありません。当院でプラチナ抵抗性再発と診断され、2016年以降に原病死された卵巣癌、卵管癌、及び腹膜癌患者を対象として、プラチナ抵抗性再発患者さんの臨床的背景と、化学療法による予後延長効果、及び生存期間について検討し、化学療法で恩恵を受ける患者の臨床像を明らかにすることを目的としています。

#### 方法

2016年1月以降に卵巣癌、卵管癌、及び腹膜癌で原病死された患者さんの診療情報から情報を収集し、検討します。

研究期間：倫理審査委員会承認日 ～ 2025年9月31日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：原発巣、進行期、組織型、手術の有無、白金製剤投与から再発までの期間、PS、既往化学療法数、BRCA、HRD 検査結果、プラチナ抵抗性再発の診断後の化学療法継続期間、及びレジメン数、生存期間など。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

当院研究責任者：

新潟県立がんセンター新潟病院 婦人科

当院研究責任者：菊池 朗

連絡先：新潟市中央区川岸町2丁目15番地3

TEL：025-266-5111（大代表）